

2017年12月7日

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

代表取締役社長 米澤 栄二

フィリピン南北鉄道事業 詳細設計及び施工監理 受注 総額 223 億 6 千万円

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、社長：米澤栄二 以下OCGlobal）は、OCGlobal を代表とする 6 社の共同事業体（JV）にて、11 月 28 日に国際協力機構（JICA）より、『フィリピン国マロロスークラーク鉄道事業』及び『フィリピン国南北鉄道事業南線』の詳細設計調査（2 事業パッケージ 契約金額 79 億 6 千万円）を受注しました。

また、12 月 1 日にフィリピン運輸省（DOTr）より『フィリピン国南北通勤鉄道事業（マロロス・ツツバン）』の施工監理業務（契約金額 144 億円）を、OCGlobal を代表とする 5 社 JV で受注しました。

フィリピン経済の中心であるマニラ首都圏は人口 1,300 万人を擁し、急速な発展と経済の一極集中により、交通混雑が悪化の一途をたどっています。そのため、フィリピン政府は首都圏の鉄道事業に力を入れており、マニラを中心に首都圏を南北に結ぶ総延長約 178km の鉄道事業を計画しています。弊社は、これまでに本鉄道の中心部にあたる「南北通勤鉄道事業（マロロス・ツツバン）詳細設計調査」を実施しており、今般、同区間の施工監理を受注いたしました。さらに、本鉄道の北側マロロス・クラーク間と南線（ソリスーカランバ間）の詳細設計を受注しました。本鉄道はフィリピン現政権中に部分開通を目指しています。



施工監理業務調印式にて
右から 3 番目 トュガデ フィリピン運輸省大臣
2 番目 弊社マニラ事務所所長 浅野雄司



マリラオ駅完成イメージ



【業務概要】

①フィリピン国マロロスクラーク鉄道事業
延長：約 70km

②フィリピン国南北鉄道事業南線（通勤線）
延長：約 70km

①②の事業

契約金額：79 億 6 千万円

業務概要：F/S 調査、基本設計、詳細設計、
入札図書（案）作成

③フィリピン国南北通勤鉄道事業（マロロス-ツツバン）
延長：約 38km

契約金額：144 億円

業務概要：高架・駅・車両基地建設工事の
施工監理

南北鉄道 3 事業 路線図

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

担当 広報・渉外室 富田早季

TEL: 03-6311-7570 FAX: 03-6311-8020 URL:<http://www.oriconsulglobal.com/>